

なきごえ



1982

10

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

ダメ犬「バーニー」

磯部 満



ミニチュアダックスフントのオス5才、わが家の愛犬である。

一見愛らしく散歩中、よく女の子たちが「カーウィー」と寄ってくる。

中型犬の子犬3〜4カ月程度の体格と体重

は、この犬種のスタンダードをはるかに越えて、血統書のねうちはゼロである。

だが、これをもって「バーニー」をダメ犬として

むしろ、十分に栄養と水を与え、十分なる運動をして

いる結果であって、私自身が「愛犬家」であることを示しているものである。

彼のダメ犬たる所以は、神経質で、極端に憶病であるということだ。

散歩に出かけても、同行者が一人だと、木の葉のざわめき、風でとんで来る紙くずをもこわがる始末である。

足どりも重く、教えてもいないのに、ピタリとヒトの横により添って歩き、犬や猫と出会うとも見向きもしない。訓練の行き届いた名犬のようである。

これが、同行2人となると、が然犬が変わったように強くなる。垣の中やつながれている犬を見分けては、猛然と向かって行く。逃げる猫は追いかけるが、逃げない猫には、その前でピタリと止まってもどつてくる。さらに悪いことには、厳しく叱り実力行使すると身の危険を感じてか、興奮の極に達した状態で咬みつく。また、緊張状態が続いた後は、よくテンカン様の発作をおこすのである。

子犬の頃は、ミニチュア特有の遺伝的なもので、弱い身を守る本能的な性質かと考えていたが、ミニサイズの域を脱し、いまや体重6kgの、小型ながら筋骨たくましい壮年となっても落ち着かず、むしろ進行気味である。

そもその誤りは、私が、ダックスフントの、あの漫画的容姿にひかれて、精神的資質を全然考慮に入れずに、手に入れたことである。純血種には、犬

種特有の性質があるが、これはあくまで、一般的、平均的なもので、一頭毎に個性があるということをお忘れていたのである。

この4月から、私の職場である「動物管理センター」では、子犬の譲渡会を開いてきた。

子犬をもらいに來る人々の、子犬の選び方を見ていると、私同様、犬の容姿、可愛らしさ、を選別の基準にしている人が非常に多い。雑種犬の場合は、犬種特有の性格などある筈もなく、体型の標準もない。せめて、極端に神経質な犬、極端に憶病な犬は避けた方が無難だ。

センターでは、子犬の性質と健康状態を、出来る限り、把握しようと、3〜4日から2週間程度、飼育することにした。

ヒトや、他の犬に接する態度、餌のたべ方、遊ぶときの状況など、健康状態も含めて観察するのである。この結果をもとにして、愛玩犬か番犬か、飼育目的を聞いて、適当な犬をすすめるのである。

考えてみると、犬のスガタカタチなど、生後3〜4カ月もたてば、可愛らしさなど感じられなくなる。飼い主にとっても、10年15年といっしょに暮すには、やはり、犬のもって生まれた性質と、飼い主自身の負担にならないような、しかも近所迷惑にならないだけの「しつけ」を最も重視しなければならないのだ。

人間の場合は、親がダメでも、子供は友人、学校、あるいは社会の中で自ら学んでいくが、犬の場合は生後1年までのしつけ次第で、良い犬にもなるし、ダメ犬にもなる。飼い主だけが教育できるのである。

このことを、私は、犬を飼いはじめる人に訴えることにしている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

(大阪市動物管理センター所長)

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。

ダメ犬「バーニー」の話から、大分それではあったが、彼にも、長所、愛すべき点は、いくらでもあるが、紙面の都合で一つだけご紹介。深夜、私が酔って帰宅したときなど、よろこびを全身であらわして、出迎えてくれるのは、女房でも子供でもなく、わが愛犬「バーニー」だけ。このことだけでも、たとえダメ犬にせよ、犬を飼わないよりは、飼った方がよい、と思っている。



“はっけよい、のこった！”

9月14日にニホンツキノワグマの子(7ヶ月令)が2頭入りました。この2頭は山形県で保護飼育されていた雌雄各1頭で、元気一杯に遊ぶ光景は見ていても楽しいものです。

(撮影：土井良彦)

なぎごえ10月号もくじ

- 動物と私 2
- “はっけよい、のこった” 3
- 動物園グラフ・動物園日記 4-5
- 動物管理センターを訪ねて 6-7
- アカカンガルーの人工哺育経過について 8-9
- 獣医室から ① 10
- 動物園ニュース 11

表紙の写真説明

“ヒョウ”

アフリカ、アジアとその分布域は広く、敏しように柔軟な体を利用して獲物を襲います。動物園では運動不足から肥満になりがちなのが悩みの種です。

(撮影：農本武志)

動物園グラフ

“動物たちの食事百景”

秋、まさかり。動物たちの食欲もすさまじいばかりです。今回はその動物たちの食事中にスポットをあててみました。(撮影：宮下 実)

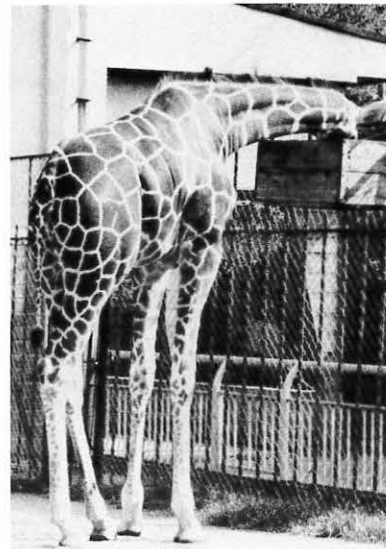


餌の山にガバッと食いつき



頭をあげてゴクリ

カバが1日に食べる餌は1頭当り47kg。その食べる迫力はNo.1です。



キリンは背の高さに合わせて餌箱も高い位置。

正面から見るとブルドーザー



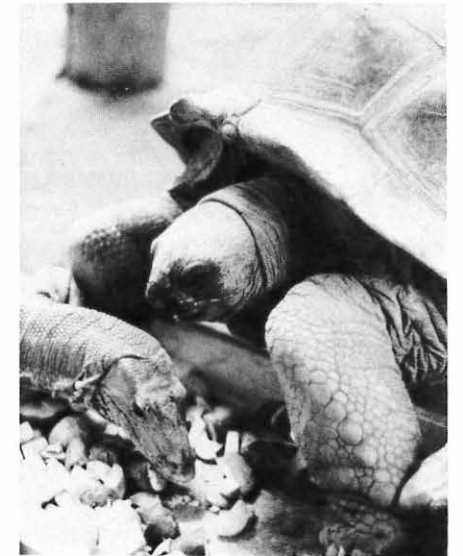
「どう、きょうの乾草の味？」
「うん、おいしいよ！」
モグモグ……



四方から餌箱をとり囲んで、井戸端会議。



このユデ卵はおいしいなあ。



「おいミズオトカゲ君、餌を一人占めするなよ」
「ごめんね、ゾウガメ君」

8・9月の動物園日記

- 8 / 21. ホッキョクグマ駆虫を行ないました。
- 8 / 22. ホオジロカンムリヅルの雄の気が強くなり雌をいじめるので、雄の方を今まで番でいた鶴舎から水禽放養舎へ移動させました。タンチョウの雄の栄養状態がよくなく貧血気味なので、すぐに治療を開始しました。第8回サマースクール研究発表作品展が始まりました。
- 8 / 26. アミメキリンのリッコ(雌)が雌の子を1頭出産しました。

- 8 / 27. 若いアカショウビンを1羽保護しました。昨日中に立てなかったキリンの赤ちゃんにまず人工乳を与え、さらに介添えをして起立できるようにしましたが、衰弱がはげしく、施した治療も効なく死亡しました。
- 8 / 28. シロハラミズナギドリを1羽保護しました。
- 8 / 29. ササゴイ1羽、ハシボンガラス1羽、イタチ1頭を保護しました。
- 8 / 30. 定例飼育研究会が開かれました。
- 8 / 31. クロヒョウ一番がともに元気。食欲がなくなったので、治療を始めました。
- 9 / 1. クロヒョウの雌が肺炎で死亡しました。

- 9 / 2. 保護されたアカショウビンの餌付けに成功しました。
- 9 / 3. シマウマの雌“レディ”が、雄のラッキーに蹴られるためレディを隔離しました。パカの雄“パーゴ”が、娘のムーミンからひどい咬傷をうけたので入院させました。
- 9 / 5. アオバズクの性別鑑定を行ないました。
- 9 / 7. スワローバト3羽の巣立ちを確認しました。
- 9 / 8. クロヒョウの雄を入院させました。
- 9 / 11. ウミネコの幼鳥を1羽保護しました。

- 9 / 12. モウコガゼルの雌が敗血症で急死しました。
- 9 / 14. ツキノワグマの子(約7カ月令)2頭が入園しました。
- 9 / 16. キジ類の鳥にワクチン接種を行ないました。
- 9 / 17. 今年6月13日生のアシカの子の栄養状態が悪いので人工哺育に切り替えました。マレーバクが元気。食欲がなくなったので治療を始めました。
- 9 / 19. アジルテナガザルの雄が食欲がなくなってきたので投薬をはじめました。

大阪市動物管理センターを訪ねて

月刊誌「なきごえ」は動物園と動物、そしてそれに係る動物園愛好家もしくは、動物愛好家の愛好誌として好評です。しかし、今回は少々趣きをかえ動物園を離れ、大阪市動物管理センターのことを書いてみることにしました。

では、核心に入る前に大阪市動物管理センター(以下、動物管理センターという)とは何ぞやについて、まずご説明しましょう。

動物管理センターは、昭和49年4月に施行された「動物の保護及び管理に関する法律」、(以下、動物管理法という)に基づき、本法の目的とするところをかなえるために旧大阪市狂犬病予防事務所が順次



整備され、昭和55年6月に大阪市動物管理センターとしての開所を見たのであります。それでは、動物管理センターの沿革、歴史、施設規模、事業内容等をふりかえってのち探訪録としましょう。

1. 沿革、施設、事業等

昭和25年8月に狂犬病予防法が施行され、本市に狂犬病の蔓延防止、撲滅と防疫の目的と見地から住吉区東加賀屋町(現在の住之江区東加賀屋、住吉市民病院の近く)に大阪市捕獲犬抑留所が建設され、放浪犬、野犬の捕獲、及び真性並びに擬似狂犬病犬の捕獲に目覚ましい貢献をしました。

昭和31年6月、手狭になった大阪市捕獲犬抑留所を住吉区柴谷町(現在の住之江区柴谷)に新設移転し、施設業務の拡充整備をはかりました。

昭和42年7月、捕獲犬抑留所を名称変更し、同位置で2769.5㎡に拡充し、「大阪市狂犬病予防事務所」としました。

昭和46年4月、「大阪府飼犬の管理に関する条例」が施行され、犬の業務も狂犬病の防疫から犬の苦情処理へと移行してきました。

昭和49年4月、「動物の保護及び管理に関する法律」が施行され、増々犬業務等が多忙となりました。昭和55年4月、大阪市狂犬病予防事務所が名称変更され、又、施設も拡充新設され3972㎡となり「大阪市動物管理センター」として開所しました。

昭和56年4月、動物管理指導員を発足し、市内4カ所の基幹保健所に配属し、動物管理センター以



外でも犬猫の引取りはもちろんの事、正しい飼養方法等を指導啓もうにのり出すようになりました。昭和57年4月、拡充された「大阪市動物管理センター」で愛犬教室を開講しました。

2. 探訪録

この春、絶好の快晴の午後、4月より第2、第4水曜に開講しているとかねてから聞いていた愛犬教室を聴講兼探訪するため、午後よりカメラを携えこれまた小鳥から象まで大好きという我が天王寺動物園の大阪動物園ボランティアーズ(通称OZV)の若きギャル数名と1人の男性ボランティア(但し、運営委員長の重責から随行)と一緒に胸をときめかせて訪れました。センター内は新設された管理棟とイヌ、ネコの交換会を兼ねた



愛犬教室と2棟に分れていました。センターはいたるところに夾竹桃、キンモクセイ、バラ、柳、ツゲ、ツツジ、サツキ、果樹のブドウ、イチジク、



そしてデージーやパンジー、チューリップなど花が咲き乱れておりました。ところで動物管理センターは地下鉄北加賀屋町から西へ徒歩20分、南港

に通じる柴谷・平野線の柴谷大橋の手前100m南側の道路際にあり、動物管理センターと大書した標柱と門扉に愛犬教室と書いた犬の看板が目につきます。庭内は十分の広さがあり、大勢の人がイヌやネコを交換したり譲り受けるため車で来所していました。教室の周辺には、町中では見かけることのめずらしくなった早ペアーのニワトリ、キジのハツカン、可愛いセキセイインコ、ジュウシマツなどの小鳥達、ウズラ、ウサギ、池には鯉とアヒルが放し飼いされ、イヌ、ネコだけでな



く、いろいろな動物が見られ、またさわれるようになっており、動物とのふれあいを通じ、愛護の心をはぐくめるようになっていきます。

さて、第2、第4水曜に行っているイヌ、ネコの交換会と愛犬教室ですが、まず譲渡する方も、譲受される方も受付で申し込み書に記入します。譲渡する人は所有権の放棄も兼ねます。好みのイヌやネコが決った人は動物管理指導員や動物管理センターの獣医に正しい飼い方の指導を受け一方、アンケート調査に協力します。また譲り受けたイヌが3カ月以上であれば、狂犬病予防法に基づき狂犬病の予防注射を受け、登録をすまし、鑑



札と注射済票の交付をうけます。すべてこれらは有料で、3カ月未満のイヌとネコについては無償です。しかしイヌについては3カ月をすぎると最寄りの獣医で狂犬病の予防注射をうけることはもちろん、地元の保健所で登録等の手続きをするよう指導をうけます。私達がお邪魔した時には4名の動物管理指導員と3名の新人の獣医さん、そして動物管理センターの所長、主査、獣医と職員の方が現場で対応されており、イヌ、ネコの食餌指

導、運動方法はもちろん、狂犬病やジステンパー、パルボウイルス、ネコ伝染性腸炎、レプトスピラ症、トキソプラズマ症や寄生虫症、皮膚病等の予防法、治療法等と快適で正しい飼い方の指導をしていました。



動物管理センターでは愛犬教室のほか、毎日定期的に市内各所でイヌの捕獲や収容、ネコの引取りを行っています。又、動物管理法に基づき、負傷動物の収容と治療、避妊手術や麻酔法の研究、病理検査や細菌検査を行っています。

ちなみに狂犬病の発生は、市内では昭和25年を最後に、府下では昭和28年、国内では昭和31年を最後とし現在はその発生はありません。これは日本が島国である特性と万全な動物検疫、防疫体制の賜物と思われま



3. あとがき

見学した当日は譲渡する人、譲り受けた人など70~80名余りが来所していましたが、他の府県でも同様の施設があり、ただ単にイヌ、ネコの交換だけでなく、今後動物関係図書蔵書充実を図るとともに、健康相談の中での無料診察や寄生虫検査、毎日の動物相談、そして子供づれのお客には、動物愛護の映画やスライドの映写をしたり、パーゴラやベンチを設置し小公園の庭園を作ったりすればもっと親しみやすく、たのしいものになるでしょう。又、これらの事業を推進していくために市獣医師会や動物園獣医師、ボランティアの参加なども将来的なものだと思います。最後に増増、動物管理センターが楽しくて夢のある場所として発展されることを期待しております。

(飼育課: 中川 哲 男)

アカカンガルーの人工哺育経過について

§ はじめに

人間でも動物でもみなし子になるという事は悲しい事です。それが幼なれば幼な程、悲劇を呼びます。昨年8月20日、母親の育児のうに入っていくのを、巡回中の獣医によって偶然目撃されたアカカンガルーの子は、その後、母親の暖かい育児のうの中で順調に成長していましたが、母親の死によって、人間の手で育てられることになりました。

当園では昭和43年に、同僚の三浦正明係員がアカカンガルーの人工哺育に成功しており、又、各地の動物園でも人工哺育がなされておりますが、今回はこの人工哺育について記録を追って紹介したいと思います。

§ 哺乳経過について

前述しましたように、昨年8月20日、この個体は誕生したわけですが、その後母親の育児のうの中で順調に育ち、



写真① 哺育箱の中でミルクを与えているところ

11月の下旬には初めて育児のうより顔をのぞかせ、以後数回にわたって育児のうから顔を出しているのが確認され、子供達の人気者になっていました。しかしながら、12月16日の早朝、収容室内で横たわったままの虫の息の母親の傍で、力なく弱々しい声で、もの悲しくただ鳴くばかりの子を発見しました。早速人工哺育する事になりました。ミルクは子犬用粉ミルクのエスピラックを使用し、哺乳器には、エスピラック哺乳器に子犬用の乳首を付け使用しました。

カンガルーの子自体口が小さいので、当初は2つの乳首の内小さい方を使用し、徐々に大きい方に変えていきました。(写真①参照)

哺乳時間については、午前8時から午後7時迄与える事にし、哺乳回数は人工哺育を始めた当初、最低6回から最高10回の哺乳を行ないました。何しろ口が小さいので飲む時間にもバラツキがあり、インターバルを置きながら飲ませていると、30分や40分はすぐに経過してしまう状態で、その割には哺乳量が増えずモタモタしているとの他の仕事が出来ない日が幾日となく続きました。

哺育箱については、縦60cm、横35cm、高さ30cmの哺育箱の中に電気アンカを敷き、その上に毛布やタオルを敷き保温し、そして、暖房の入っている収容舎に収容し、部屋が乾燥し過ぎないように心掛けました。収容室の温度はボイラーの蒸気暖房で、その日のボイラー担当者によってまちまちで、18℃～28℃の温度幅があり、かなりバラツキがありました。

排便、排尿については、初めの内は脱脂綿やガーゼをぬるま湯に浸し、排泄口を刺激してやり排便を促す方法をとりました。12月20日から自然排便が見

られましたがその後も続ける事にしました。便は硬く心配しましたが、幸いにして悪影響も出さず徐々に正常便になっていきました。

カンガルーの人工哺育をする場合で一番問題になるのは育児のうの問題です。とりあえず35cm×40cmの大きさで、材質は毛布を使用し内側にはキルティングを縫い合わせたもので作り、なるべく清潔を保つ様にしました。カンガルーの育児のうは御承知のように伸縮自在で非常に柔軟性があるものですから、はたしてカンガルー自体がなじんでくれるかどうか心配でしたが、何の抵抗も見せず入ってくれました。やはりカンガルーの子には袋の中が一番安心していられる場所らしく、哺乳時に抱いてやると、ジャンパーの中に潜り込んだり、作業用のアノラックの中に顔を突っ込んだりしては我々を困らせました。年明けの1月3日には体重も1500gになり、そろそろ前肢の力も強くなって、尾でバランスを取り後肢で体を掻く動作をする様になりました。成長すると共に日光が必要になってきました。かと言って目は離せませんので仕事の合い間や昼休み時間を利用して、プラスチック製のコンテナの中に収容し、日当たりの良い場所で日光浴をさせる事になりました。1月7日からは、離乳に備えて、切乾草となじます為、収容室一面に切乾草をまいてやりました。次いで1月12日には大根菜、パン屑、白菜等を細かく切ってフスマとカルシウムを混ぜて与えました。与えると言うよりは、慣れさせると言った方がいいでしょう。この頃には行動範囲もかなり広くなり、体重も1650gと順調に育っていかにかと思えた矢先の1月16日早朝、哺育箱のフタとヘリの間に腰部をはさんだままの状態で見られました。実は、前日より袋の中か

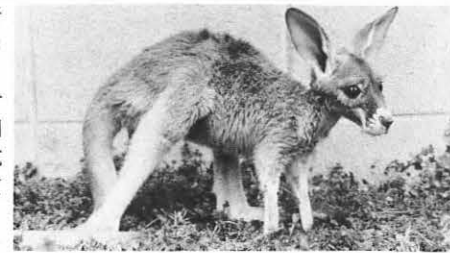


写真② 起立しているところである。落ち着いて行動している場合は正常であった。

らかって出ており、それまでは夜間、哺育箱に収容して帰宅していたのですが、そろそろ夜間も哺育箱から出さなければならぬかと迷っていた所でした。運命のいたずらとは皮肉なもの。わずか1日延ばそうとしたのが間違いでした。はさまったままの状態で、おそらくかなりの時間もがいていたと思われ、発見時には、左右両肢共硬直し、機能を失った両後肢は冷たく延ばされたままでした。急いで両肢を暖める一方、マッサージを行ない、状態を見る事にしました。数分後には獣医も来てくれましたので、レントゲン検査を依頼する事になりました。マッサージを行なった結果、右後肢は徐々に機能が回復しつつありましたが、左後肢は硬直したまま冷たく延ばされたままでした。レントゲン検査の結果は骨に異常は見られず、脱臼及び骨折の心配はないとの報告でした。その後も念の

為、数回にわたってレントゲン検査が行なわれましたが、いずれの場合も骨に異常は見られないとのことでした。その後も、暇を見つけては腰部から後肢へマッサージに明け暮れましたが、動かない機能を失った肢を見るにつけ、胸の痛み毎日が続きました。同時に、是非とも元の元気だったあの後肢に治してやりたいという気持ちも一杯でした。

こんなアクシデントがあったにもかかわらず、哺乳量は日毎に延び、体重も順調に増加していき、1月19日頃からは収容室内にワラを敷きつめ、その上で体を支える練習をさせる事にしました。左肢の硬直状態は徐々に治りつつありましたが、当初左後肢よりは状態の良かった右後肢が弱くなり、完全な無力状態となってしまいました。以後、マッサージ及び副腎皮質ホルモンを注射し、同時に抗生物質のシロップを投与して状態を観察する事になりました。この結果、2月初旬には後肢でも起立してられる状態にまで回復しましたが、(写真②参照) 急な運動や、方向を変える場合には後肢がクロスしたまま、元に戻せない有り様でした。又、クロスした右後肢を正常に戻してやっても、すぐに後に流れ、右後肢の機能が極端に弱くなっているのを物語っていました(写真③参照)。



写真③ 写真②の状態にあったものを、正常に戻しても、ごらんの様に右肢が流れる。この様な状態が長く続いた。

肢の機能回復には手こずった形でしたが、採食状態は順調で、1月の末頃には乾草をわずかですが食べ出しているのを確認しました。又、この頃には収容舎横の屋外に2m×3mの面積の空き地に土を入れてやり、周囲はナイロン製のネットで張りめぐらした簡易日光浴場を作り、ここで日中、運動を兼ねた日光浴をさせる事にしました。日光浴といっても時間に制限があり、陽当たりの良い時間に、なるべく長い時間日光にあてるという具合で、ネットの高さはカンガルーの子が、跳躍出来ないであろうと思われる40cm程度にし、日光浴中は誰かが必ず付いている事にしました。その後も右肢の機能回復はままならず、腰部に指圧を試みたり、針治療をも検討されましたが、徐々にではあるが回復に向かう兆しを見せました。2月を過ぎると濃厚飼料も食べ出し、キャベツ、大根菜、リンゴ、白菜、人参、カンショ、パレイショ、ウサギ用ペレット(普通の草食獣ペレットよりはやわらかい)、フスマと、食べる可能性のある物は全て細かく切り与える事にしました。

この様にして濃厚飼料に少しづつ慣らせていき、離乳を円滑にすると共に、離乳を早めるという目標をたてたのですが、唯一運動場の土を食べるといった悪癖が見られました。鈹塩は与えていたのですが、

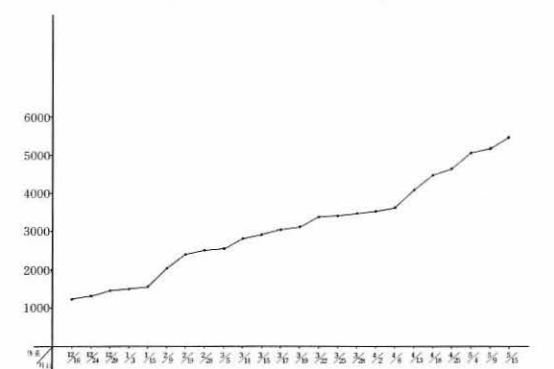
獣医と相談の結果、鈹塩に加えて原塩を与える事になりました。原塩はまさしくバリバリ食うといった感じで、音をたてて食べていたのですが、体に悪影響があつてはならないと思ひ、途中で鈹塩1本にしました。その後わずかずつ悪癖も治り、3月には青草も入手できるようになってきたので、若干の青草を与える事にしました。青草はなるべく新鮮な草を与える為、その日の朝に刈りに行き昼頃に与える事にしました。子はこの青草をよく食べ、時には昼と夕方の2回与える事もありました。4月の中頃には後肢もずいぶんよくなり、57cmの高さを楽に跳躍する迄に回復しました。その後、これといった病気もなく万事順調に事が進むかに思われましたが、7月25日突然下痢を起こし、採食不良の状態に陥りました。

原因としては、①サツマイモ等の不良品を誤って食べた。②ネズミ等による細菌が感染した。③ストレス……、の3種が考えられました。最も考えられたのが①と②でしたが、サツマイモ、人参等の根菜類については、与える場合調理の段階で細心の注意をして与えているわけですから、まず常識的には考えられない事です。早速整腸剤と抗生物質を連日投与した結果、29日には青草を食べる様になりました。しかし、便はまだ軟便状態で排泄口の粘膜が脱出し、かなり重傷である事が判明しました。当園では十分な細菌検査を行なう設備がない為、投薬を続ける一方、環境科学研究所に便の細菌検査を依頼しました。検査の結果は陰性で細菌性の下痢ではない事が分かり、原因不明のまま治療が続けられました。その後、下痢止めや抗生物質、薬品を色々変えながら状態を観察する事にしました。その結果、8月14日頃からは便の状態もよくなり、20日過ぎからは投薬も打ち切り、8月末には完治しました。

最後に、若い獣医の皆様と飼育係の方々の御協力により、いろいろな壁にぶち当たり、自己批判をした時もありましたが、難関をくぐり抜けることができました。まがりなりにも成長した事は非常に嬉しい事ですが、改めて人工哺育の難かしさというものを知った思いです。

(飼育課：葎谷文彦)
写真提供：榊原安昭
野口秀高
(以上敬称略)

〈体重の変化〉



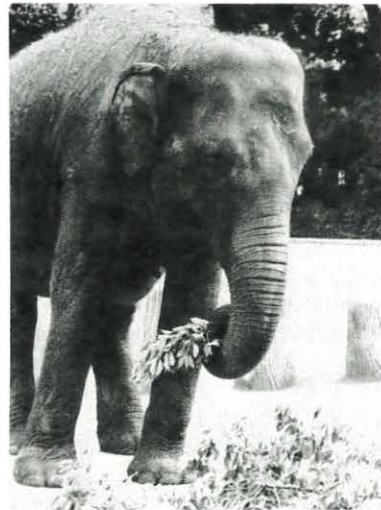
獣医室から ③1

“食欲の秋”

— 動物園台所事情 —

人間と同様、動物にとっても秋は食欲旺盛になる時期です。今回はこの動物たちの採食量やそれにかかる餌代などの動物園の台所事情をご紹介します。

動物園一の大食漢はなんといっても体の一番大きなインドゾウで、その採食量は1日90kgにも達します。以下カバ47kg、クロサイ32kg、キリン20kgがフタコブラクダ11kgが動物園のベスト5です。鳥類で



動物園一の大食漢インドゾウ、1日に90kg (9,007円) も食べる

はダチョウの3.6kg、キングペンギン1.5kg、コンドル1.2kgがベスト3です。ところで、これらの餌代がどの位かかるかという点、一番はやはり最多の量を誇るインドゾウが餌代も最高で、1日1頭当り、9,007円もかかります。ついで量的には三位のクロサイが餌代No.2で3,404円、カバが3,328円と続きます。このベスト3につぐのはホッキョクグマの2,265円、トラの1,930円、ライオン1,813円で、採食量としてはそれぞれ7.5、5.5kgとたいして多くないのですが、食べるものが値のはる肉類だけに餌代では上位にランクされています。季節の果物やヨーグルト、チーズなど、わりとぜいたくなものを食べていると思われがちの類人猿にしてもゴリラの1,042円 (5.3kg) が最高で、見かけほど食費がかかっていないのが実情です。

鳥類では意外や意外、珍鳥キーウィが一位を占めています。食べる量は500gにも満たないのですが、その餌となるミミズが高価なため1,140円と、ゴリラをも上まわるほどです。以下、コウノトリ667円、ダチョウ652円、タンチョウ617円、キングペンギン528円と続きます。

ハ虫類ではワニ、ヘビ、トカゲなどは週1回しか餌を与えないため、一日の餌代に換算するとわずかな額になります。毎日レタスやリンゴ、バナナなど1kgも食べているゾウガメにしても181円と、かなり安上がりです。

さて今度は見方を変えて、質的に高価な物を食べている動物は何か調べてみました。つまりそれぞれの動物が食べている餌の1kg当りのコストを計算してみました。その結果、草食獣は1kg当り80~105円と大変安い餌を食べていることが判りました。肉食獣は300~430円と草食獣の3倍以上も高く、やはり野菜や乾草より肉類がはるかに高いことを示して



動物園一の高価飼料採食動物 ワライカワセミ

います。それでは動物園一の高価飼料を食べている動物は何だと思いませんか？ 私はキーウィだと思っていました。事実キーウィの食べる餌は1kg当り、2,533円とインドゾウ (102円) の25倍にもなる高い数値を示しました。ところがキーウィは2位で、トップは予想にもしなかったワライカワセミでした。ワライカワセミは1日に1羽がマウス2匹を食べますが、マウス1匹 (45g) が185円、従ってワライカワセミの1日の餌代は370円になるわけですが、これを1kg当りに換算すると4,111円になります。数字の魔力とは恐ろしいもので、最近ワライカワセミを見る度に、飼料費の赤字の原因はこの鳥たちのせいにちがいないと、真剣に思い悩むこの頃です。

(飼育課：宮下 実)

※ 動物園グラフも御参照ください。

すてき満喫 近鉄クレジットカード

- 全国の近鉄流通グループ・都ホテルチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つの支払い方法がございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。



近鉄百貨店

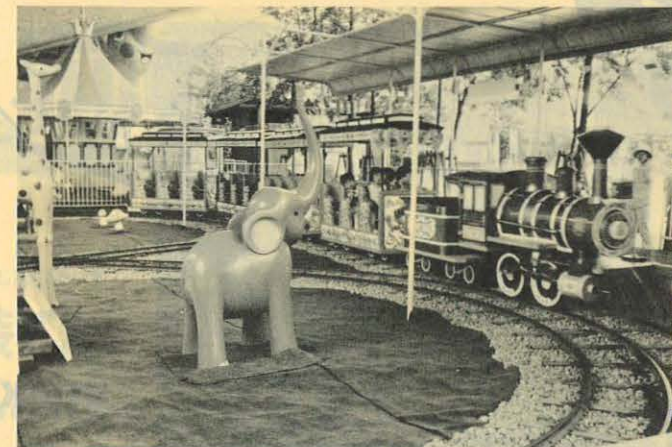
お申込み・お問合せは 各店クレジットセンター

アベノ店 06(624)1111・上本町店 06(779)1231
東大阪店 06(783)1111・奈良店 0742(33)1111

— 近鉄百貨店グループ —

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・枚方・和歌山・東京(吉祥寺)・四日市・松阪・伊勢・岐阜・徳山・別府

たのしいのりものが待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
…… 1割引

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社 ☆ 社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(06) 541-3112 (06) 771-0201

動植物の生態をわかりやすく解いた楽しい幼児図鑑

こどものずかん

この図鑑は正確な絵と生態写真を使って幼児の観察力を養い育て、動植物への理解を深めるようにつくられています。カラーページには身近に見られる動植物を取り上げ、2色ページには観察や飼育・栽培をするときの心構えと要領がのっています。最寄の有名書店、百貨店でお願いします。



全 10 巻

●B5判・上製本・56頁
各巻定価650円

- ① みちかな どうぶつ
- ② のやまの むし
- ③ にわや かだんの はな
- ④ うみの いきもの
- ⑤ やさいと くだもの
- ⑥ どうぶつえん
- ⑦ のやまの くさき
- ⑧ みずべの いきもの
- ⑨ のやまの とり
- ⑩ きせつと しぜん

ひかりのくに株式会社

〒543 大阪市天王寺区上本町3-2
☎06-768-1151代表

◎ 動物のことなら あらゆることに
お役に立ちます。

- 飼育指導 (ペットよろず相談)
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写生会
- 撮影用動物モデルリース
- 動物(ペット)、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

110 自然から学ぶおもいやり

株式会社 アニマ

(いきもの110ばん)

☎ 06-863-1025 (代表)

〒561 豊中市利倉2丁目22-2

ポッカ コーポレーション

ご行楽に...



ビタミンC入り

ポッカ つぶちん オレンジ

NET 250g
標準小売価格 ¥100

POKKA P

スポーツアルカリイオン飲料

C-500

NET 250g
標準小売価格 ¥120

誰が押しても



ただフィルムを差し込むだけです。

自動装てん

ピント合わせはカメラまかせです。

自動焦点

次々とシャッターを押すだけです。

自動巻き上げ

撮り終えると同時に巻き戻されます。

自動巻き戻し

フジカオート7デート
標準価格49,800円
(本体47,800円/ケース2,000円)

標準価格はメーカーが希望する標準的な小売価格です



大阪市天王寺動物園協会発行
「なきごえ」発刊200号特集記念

協 賛

獣医科 (イロハ順)

岩崎橋犬猫診療所

TEL (06) 551-1323
大阪市大正区三軒家西1-7-18
辻 栄重

奥村獣医科

TEL (06) 211-8941
大阪市南区島ノ内2-8-34
奥村 弘

高岡獣医科

TEL (06) 471-1672
大阪市西淀川区野里2-2-5
高岡 秀和

高瀬獣医科

TEL (06) 971-7927
大阪市東成区大今里4-27-25
高瀬 一行

谷町獣医科

TEL (06) 941-7693
大阪市東区谷町4-20
池尾 信一郎

鶴野獣医科病院

TEL (0722) 33-0372
堺市一条通18-8
鶴野 整傳

浦東獣医科

TEL (06) 631-3331
大阪市浪速区恵美須西3-6-11
浦東 信夫

福留獣医科

TEL (06) 322-6290
大阪市東淀川区下新庄1-11-7
福留 慶彦

藤井寺動物病院

TEL (0729) 54-5630
藤井寺市御舟町1-3
是枝 哲世

芦屋家畜病院

TEL (0797) 22-3961
芦屋市打出小槌町46
岩崎 孝泰

境川獣医科

TEL (06) 582-0252
大阪市港区市岡元町1-1-1
松村 一弥

東田獣医科

TEL (0726) 82-3297
高槻市名神町3-8
東田 和弘

.....ぼっちゃん
.....おじょうちゃん

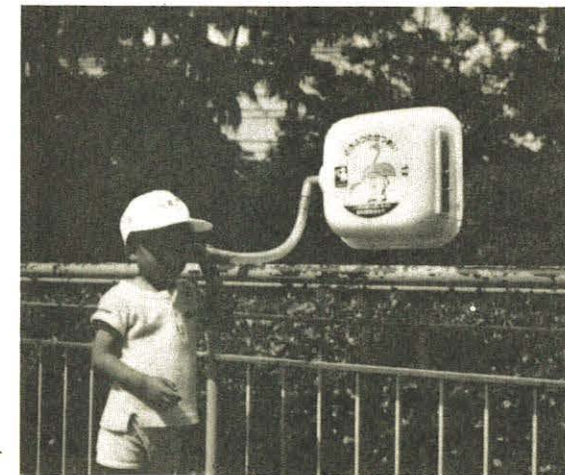
どうぶつえんへ.....
いらっしゃいませ.....
ごきゅうけいは.....
おしょくじは.....

動物園内北園

中央売店

☎ 06-771-0973

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヵ所にあります

1回 20円

関西特機株式会社 ☆ 社団法人大阪市天王寺動物園協会
(06) 762-2333 (06) 771-0201

天王寺動物園内

南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (771) 7110番

園内でのお写真は…
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願い致します。

動物園協会
指 定

国際航空写真株式会社

豊中市蛸池西町3丁目555 関西国際空港ビル内
大阪営業所 TEL 06-856-7444

動物園ニュース

§ アシカの人工哺育

6月13日生れのアシカの子の成長がおもわしくないため、9月17日に親から離し強制哺乳を開始しました。

昨年も、この親の産んだ子は哺乳量が少ないためか、1カ月余りで死亡しており、今年も出産はしたものの、4つある乳房のうち1つしか乳を分泌していないようで哺乳量が少なく、後から生まれた子より、ずいぶん成長が遅れていました。

親に3カ月近くついていたので、哺乳ビンで哺乳



することは困難と考え、現在、朝夕2回カテーテルで、アシカやクジラ類のための乳脂肪分の高い特殊な水生動物用のミルクを強制的に与えています。体重がなかなか増加せず、たいへん苦労しています。無事に成長することはたいへん困難かもしれませんが、なんとか成功させたいものと努力しています。

§ ニホンザル入園

ニホンザル25頭が9月21日に入園しました。

今回入園した25頭は、天然記念物として有名な大阪府箕面市の群からのものです。箕面のニホンザルの群は昨年2群に分裂し、正常な形での保護管理が困難とのことで、分裂した群の全頭を捕獲したもの



です。今回、当園に来園したものは、捕獲後研究のため大阪大学の人間科学部で飼育されていたものの一部です。

入園に先立つ、9月17日に阪大で個体識別のため胸部に入墨を実施しました。そして9月21日に入園し翌22日から南園のサル島で展示しています。

この群の構成は、雄8頭、雌17頭の合計25頭ですが、雄は1976年生れの6才のものが最年長で、成熟した雄がないので、安定した群となるにはしばらくかかるかもしれません。しかし、若がえったニホンザルの群で、サル島は活気にあふれています。

§ “第8回サマースクール研究発表作品展”開催

恒例のサマースクール研究発表作品展が、8月23日から9月11日まで開催されました。

子供たちの研究発表の作品の他に、サマースクールのスナップ写真や、教材として使用した頭骨標本、鳥卵の標本、鳥の羽毛、餌の見本やテキストなどを展示しました。



また、今回は、サマースクールでの元気な子供たちの勉強風景を撮影したビデオの放映も行ない、たいへん好評でした。

§ 動物愛護週間

9月21日から26日までの動物愛護週間に今年もたくさん行事が行なわれました。

期間中、北園展示館では(社)大阪動物愛護会の主催で「児童動物画並びに動物標語入選作品展」と「ふるさとの動物園」のビデオ放映が行なわれ、掲示板では大阪自然環境保全協会との共催で、“野生動物を守ろう”と題して、釣針とテグスによる野鳥の被害状況、大阪の野生哺乳動物、ニホンカモシカの食害防止作戦などのパネル展示が行なわれました。

また、サイ舎前では大阪市獣医師会の開業獣医さんと当園の獣医師による動物相談が連日行なわれました。

9月23日の秋分の日には、北園慰霊碑前で動物総合感謝祭が行なわれ、この1年間に当園で死亡した176頭の動物をはじめ、大阪府下で死亡した動物の慰霊祭が行なわれ、動物代表としてトカラヤギとタヌキの赤ちゃんが参列しました。



現在の飼育動物数 (1982年8月31日現在)

哺乳類	95種	356点
鳥類	222種	810点
爬虫類	43種	92点
計	360種	1258点

なきごえ 昭和57年10月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

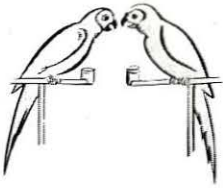
第18巻 第10号(通巻206号)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

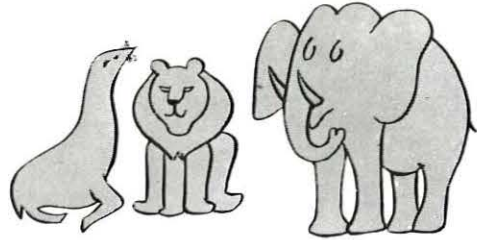
1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員 橋本 一郎・土井 良彦・樽本 勲・中川 哲男・宮下 実・長瀬健二郎・榊原 安昭・森本 委利・大野 尊信
 蔵谷 文彦・農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・小出 雅三・板野 健一・石島 宏胤・柴田 総